

東日本大震災で被災された皆様に喪心よりお見舞いを申し上げさせていただくとともに、震災によって亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。



日本学術会議公開シンポジウム

主 催

日本学術会議統合生物学委員会

岩手県一関市教育委員会

久保川イーハートープ自然再生協議会

「生物多様性をめぐる 科学と社会の対話」 in 東北

日 時：平成23年5月15日（日）13：30～17：10

場 所：ベリーノホテル一関（岩手県一関市山目三反田179）

参加費無料・要参加申込み

開催趣旨

統合生物学は、遺伝子から生態系までの生物学的階層における複雑で動的な生物のシステムを、生命史・進化の視点から科学的に解明する基礎科学分野を広く含み、生物多様性を科学研究の対象とする学術領域です。

2010年10月には生物多様性条約第10回締約国会議が愛知県名古屋市で開催され、さらに12月の国連総会では、2011年から2020年までを「国連 生物多様性のための10年」にするとの日本の提案が採択されました。本シンポジウムでは、統合生物学の今の姿を社会に伝えるとともに、「さとやま」の生物多様性の保全・再生・持続可能な活用のための取り組みに関する情報を交換することを通じて、現在、急速に深刻化する生物多様性の危機に適切に対処し持続可能性を確保するための課題と解決の方向性を探ります。

次 第

13:30～13:40 開会のあいさつ

「開会にあたって 日本学術会議統合生物学委員会から」
鷲谷いづみ（東京大学）

「開催地を代表して」
藤堂隆則（一関市教育長）

13:40～15:40 第一部 リレートーク

統合生物学が切りひらく生物多様性研究の最前線

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ・世界に花が咲いた日 | 西田治文（中央大学） |
| ・生命史 40 億年に起こった大事件 | 美宅成樹（名古屋大学） |
| ・微生物の生物多様性を訪ねて | 今中忠行（立命館大学） |
| ・深海：生物多様性のゆりかご | 北里 洋（海洋研究開発機構） |
| ・飛べなく進化した鳥類の悲劇 | 松本忠夫（放送大学） |
| ・動物行動の多様性を科学する | 長谷川真理子（総合研究大学院大学） |
| ・動物の心と人の心 | 長谷川壽一（東京大学大学院） |
| ・日本列島人の多様性 | 斎藤成也（国立遺伝学研究所） |

15:50～16:05 第二部 統合生物学委員会からの提言

「生物多様性の保全と持続可能な利用のために」
学術分野からの提言 鷲谷いづみ

16:05～16:45 第三部 地域からの報告

- ・久保川イーハートープ自然再生協議会の総合的「さとやま」再生
千坂げんぼう（久保川イーハートープ自然再生協議会）
- ・中・高校生があつめる「さとやま」生物多様性情報
有本智（自然再生を試みる会 ビオトープ孟子）
向陽中学校 理科部

16:45～17:10 第四部 総合討論

参加申込みは以下の連絡先に、電話・FAX・メールのいずれかにて
ご氏名・ご所属・電話番号を明記の上ご連絡下さい。

参加申込み・お問い合わせ先

- 東京大学大学院 農学生命科学研究科 保全生態学研究室 担当者：鷲谷
電話：03-5841-8915 Fax：03-5841-8916
E-mail: taiwa.tayousei@gmail.com